

◎中国当局がキリスト教会取り壊し

【NHK News Web、2014年4月29日】

<http://www3.nhk.or.jp/news/html/20140429/k10014110001000.html>

キリスト教徒が急増している中国では、行政当局が、違法建築という理由で大勢の信徒が反対するなかで教会の建物を取り壊すなどの動きが相次いでおり、今後、キリスト教への圧力が強まるのではないかという懸念が出ています。

中国では、貧富の格差などさまざまな社会問題を背景に、都市部と農村部の双方で、キリスト教徒が急増し、その数は1億人に上るともみられています。

このうち、特に信徒が多い沿海部の浙江省温州では、地元当局が信徒の寄付で建設され完成間近だった教会を、違法建築だとして大勢の警察官を動員したうえ重機を使って29日までに取り壊しました。

教会には、取り壊しに反対する信徒3000人近くが集まり、礼拝を行ったり賛美歌を歌ったりして取り壊さないよう訴えましたが、信徒らによりますと、教会の代表者が連行されたということです。

さらに浙江省の台州や舟山でも、教会の十字架を取り外すなどの動きが出ています。これに対して、浙江省側は、違法建築の撤去は去年から進めているもので、国有企業なども含まれ、特定の宗教を対象にしていらないとしています。

中国政府は、当局の管理を超えてキリスト教が広がることは、共産党の政権基盤を揺るがしかねないと警戒しており、教会の取り壊しという極めて異例な措置をきっかけに今後、キリスト教への圧力が強まるのではないかという懸念が出ています。

☆関連するキーワード：信教（宗教）の自由、宗教政策

# イエスとその運動

## Overview

- ・ イエスの誕生とその背景
- ・ イエスの教え
- ・ イエスの十字架の意味
- ・ キリスト教の始まり
- ・ 旧約聖書と新約聖書
- ・ 連続性と断絶

## イエスの誕生とその背景

- ・ ガリラヤ地方南部の町ナザレで
- ・ 聖書ではベツレヘム（ダビデ王の故郷）で誕生したとされる（ルカ、マタイ福音書）。
- ・ ユダヤ教（ヘブライズム）の伝統の中で
  - ・ 律法をめぐる論争
- ・ ローマによる支配、ギリシア文化（ヘレニズム）の中で

## イエスの教え

- ・ ユダヤ教イエス派
- ・ イエスは30歳代に運動を開始し、一年ほど続く。ローマ帝国の反逆者として、十字架刑に処せられる。
- ・ 新約聖書によれば、イエスは死の三日後に復活し、弟子たちの前に現れ、40日後に天に昇ったとされる。

## イエスの十字架の意味

- ・ 十字架におけるイエスの「犠牲」
- ・ 人類の罪のあがないのため？
- ・ 「殉教」との関係
- ・ イエスは殉教（→ 殉国）を求めるのか？
- ・ イエスの倫理：徹底した個人倫理（cf. 集団倫理）

## 参考：イエスのたとえ話

あなたがたの中に、百匹の羊を持っている人がいて、その一匹を見失ったとすれば、九十九匹を野原に残して、見失った一匹を見つけ出すまで探し回らないだろうか。そして、見つけたら、喜んでその羊を担いで、家に帰り、友達や近所の人々を呼び集めて、『見失った羊を見つけたので、一緒に喜んでください』と言うであろう。言うておくが、このように、悔い改める一人の罪人については、悔い改める必要のない九十九人の正しい人についてよりも大きな喜びが天にある。

（ルカによる福音書15章4-7節）

## キリスト教の始まり

- ・ イエスの運動はユダヤ教内部の改革運動として始まった。
- ・ 第一次ユダヤ戦争（66-73）以降、ユダヤ教と、イエスを「メシア」「キリスト」と信じる共同体（キリスト教）は互いの違いを意識し始める。相互の批判も始まる（**反ユダヤ主義**の萌芽）。

## 旧約聖書と新約聖書

- ・ カルタゴ教会会議（397）において、現在あるような形で旧約聖書（39巻）と新約聖書（27巻）が認定される。
- ・ 2世紀のマルキオンによる「正典」運動（旧約聖書の排除、グノーシス思想への傾倒）への対応が背景にはある。
- ・ 「正典」としての聖書
- ・ 「外典」「偽典」
- ・ 『ユダの福音書』『マグダラのマリアの福音書』等

## ユダヤ教と聖書

- ・ ユダヤ教にとってはタナハ（聖書）はタナハ（聖書）のまま。
- ・ タナハ＝トーラー（Torah モーセ五書物）、ネイビーム（Nevim 預言者）、ケトゥビーム（Ketubim 諸書）
- ・ 近年、学問の世界では「旧約聖書」ではなく「ヘブライ語聖書」という言い方が用いられるようになってきている。
- ・ 「旧約」「新約」という呼び名に潜む反ユダヤ主義的傾向（キリスト教の優位性の主張）への反省が、その背景にある。

## 聖書とキリスト教文化

- ・ 聖書は文化の形成に影響を与えた。
- ・ 特に西洋では、絵画・建築・音楽・文学に大きな影響を与えた。
- ・ 文字（聖書）を読むことのできない人々のための教育的なツールとして、教会で絵画が用いられ始めた。
- ・ 西洋絵画は、4世紀から17世紀まで、その大部分をキリスト教絵画が占めている。したがって、それらを鑑賞しようとすれば、聖書の基本的な知識が必要となる。



フラ・アンジェリコ  
受胎告知  
1438-1445頃

サン・マルコ修道院蔵  
(フィレンツェ)



レオナルド・ダ・ビンチ、最後の晩餐、1495-98頃（ミラノ）



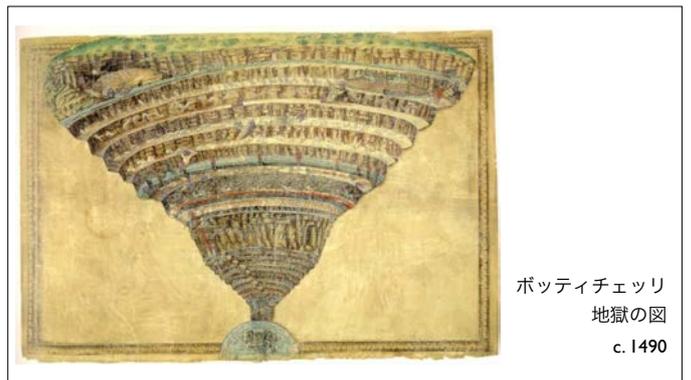
レンブラント  
ペテロの否認  
1660  
アムステルダム  
国立美術館蔵



(アントワープ)



ミケランジェロ  
最後の審判  
1536-41  
システリーナ礼拝堂  
(ヴァチカン)



ポッティチェッリ  
地獄の図  
c. 1490



明治10年頃、  
ド・ロ神父が日  
本人版画師に作  
らせた版画  
(大浦天主堂)

## 連続性と断絶

- ・ イエスの教えと教会（キリスト教）の教えの間の距離
- ・ イエスはクリスチャンか？
- ・ ヘブライズムとヘレニズムの距離
- ・ イエスとパウロの距離